

【到達目標 学士課程の教育内容・方法等】

「国際政治経済学部は、真理を謙虚に追求し、広く世界の人々と交わり、平和と繁栄に貢献しうる人格を陶冶する」と学部の理念を掲げ、国際社会に貢献できる人間の育成につとめている。そのための教育内容と方法として以下の到達目標を定める。まず第1に国際社会の仕組みを理解しその問題を解決するために国際政治学科、国際経済学科、及び国際コミュニケーション学科の3つの学科をおき、それぞれの学科の専門領域の教育を1年次から行うことで、学生に専門性を持って卒業させることである。第2に、学際的な知識修得の機会を最大限確保するような教育カリキュラム、プログラムの編成である。第3に寄附講座やオムニバス形式の科目による学外の専門家の協力、さらにインターンシッププログラムの活用などによって、適切な実践教育の場を提供することである。第4に、学生の国際コミュニケーション能力の開発に力を入れ、外国語学修については、英語のみならず第二外国語についても、体系だった教育カリキュラムと学修環境を整えること、また国際的な視野を広げるための海外研修プログラムを適切に設置することである。第5に、少人数教育を徹底し、教員と学生相互の双方向授業の拡充を行うことである。

【到達目標 学生の受け入れ】

本学部では、学生の受け入れに関して以下の到達目標を定める。第1に適切な入学定員を定め、それを大幅に上回ることがないように管理すること。第2に、多様な日本人学生を受け入れることである。そのために重要なのは入学試験であり、一般入試以外にも種々の選抜方式を採用し、それぞれに適切な定員枠を設けることを目標としている。第3に、国際性を重視する学部の特色として、海外からの留学生にも広く門戸を開くことである。このために、入学試験による選抜だけでなく、交換留学による受け入れも重視する。また、本学部への学生の受け入れに際しては、単に学問的意欲、能力だけでなく、国際社会で働くことへの強い関心や、高い外国語能力をもっている学生をより多く受け入れることをめざす。

【到達目標 教員組織】

本学部では、教員組織に関して、専任・兼任を問わず、研究者、専門家として、それぞれの分野で高い評価のある者で組織することを目標にしている。そのために、博士号やPh.D.保有者を積極的に専任教員として採用し、実務家として任用する教員も、高い専門性をもった者に限ることをめざしている。具体的には外交官、メディアの一流ジャーナリスト、実績のある官庁エコノミストなどを採用し、理論面のみならず、実践面でも質の高い教育を可能とする組織をめざしている。